

企業にとって戦略的かつ長期安定的なパートナーとしての「特許事務所との共生」を考える



「企業」の知財部門・知財担当者が抱える「なやみ」も特許事務所への「期待」も業種、企業規模、知財部門の規模、知財戦略等によってさまざま・・・



【知財部門・知財担当者が抱えるなやみ】

- ・より競争力のある権利を得るために必要なことは何か。(質も量も重要)
- ・個別技術ごとの出願ノウハウ・戦略不足。
- ・より効果的な外国出願を行うためのノウハウ・テクニック不足。
- ・現場で埋もれている技術を吸い上げて権利化する手法の模索。
- ・費用を抑えつつ如何に知財活動の維持・活性化を図るか。
- ・法改正・制度改正に対して適切な対応法がわからない。
- ・知財担当者のスキルアップを如何に図るか。
- ・社内の知財意識レベルを如何に向上させるか。
(社内風土の改革・定着)
- ・所長の高齢化に伴う事務所存続への不安。(個人事務所)
- ・担当弁理士退所に伴う事務所の対応能力及び品質低下への不安。



【知財部門・担当者からの期待】

- 実効性のある権利獲得への積極的サポートと継続的な関与。
- 事務所のもつノウハウを駆使した安定的かつ多角的なサポート。
- 業界における新旧技術理解への深化と対応能力UP。
- 依頼に対する期待以上のアウトプット品質とその維持。
- 国内外知財情報のリアルタイムでの提供と業務に対するアドバイス。



【特許事務所からの期待】

- 過度な集中を避けたコンスタントな業務依頼。(業務の平準化)
- クライアントへの貢献を実感できるフィードバックと達成感の共有。
- 他分野進出に伴うコンフリクト問題の事前回避。(情報開示による共有化)
- 業務に対する正当な評価と適正な報酬額の査定への配慮。
- 知財担当者の速やか且つ適切な対応。(企業の知財への取り組み姿勢)

「特許事務所」の抱える「なやみ」も企業知財部門・知財担当者への「期待」も事務所規模、組織形態、歴史・伝統によってさまざま・・・



【特許事務所が抱えるなやみ】

- ・依頼量の偏り(急増時)におけるアウトプットの品質維持に苦心している。
- ・優秀な人材の確保に苦勞している。(弁理士のコミュニケーション能力重視と更なるアウトプットの品質向上)
- ・依頼内容の多様化へ対応する能力がなければ生き残れない。
- ・スタッフの高齢化に伴うスキル継承の問題に苦心している。
(即戦力人材の確保もしくは提携先の厳選)
- ・新規クライアントの獲得にはコンフリクト問題が付いて回る。
- ・事業多角化に伴うコンフリクト問題には慎重に対処する必要がある。
- ・アウトプットとその評価に見合う報酬額への理解が欲しい。
- ・担当者のモチベーション向上につながる評価も欲しい。
- ・事業継続に関するクライアントの不安感を解消させ、信頼の獲得(回復)を図る必要がある。(後継者問題と組織形態)
- ・仕事のやりがいと弁理士業がサービス業であることとのジレンマ。
(クライアントの知財に対する考え方のレベルはまちまち)

